

『経験値を積むこと』の大切さ

１０月２１日(土)・２２日(日)に釜戸町文化祭が開催されました。私は２２日(日)にボランティア生徒の様子、ブラスバンドクラブの演奏を見るために訪問しました。

１０時からの開催でしたが、展示物(絵画・書写)の鑑賞と打ち合わせの様子を見るため、早めに行こうと思い、８時３０分頃現地に到着しました。到着すると、ちょうど全体打合せの最中で、それぞれの分担が発表され、実際に動き出す場面でした。ブラスバンドクラブは、部員の全体ミーティングが終了し、それぞれが準備のために動き出した場面、同時進行で保護者の方々は会場にシートを敷き、椅子を並べられていました。

その後、各担当場所で準備やリハーサルを経て、１０時から催しがスタートしました。

その中で、ボランティアの生徒たちの振る舞い、ブラスバンドクラブの演奏を見ていて一番に思ったことが、標題にした『経験値を積むこと』の大切さです。本番当初は、緊張もあるため、様子見てあったり遠慮がちであったりする姿があります。また、表情も明らかに硬いことが見て取れます。

それが、人との関わりが増え、お客さんに声を掛けられることで、表情が緩み、対応も柔軟になっていきます。

ブラスバンドクラブは、先週の日吉町文化祭に続いての出場で、１・２年生だけの編成で初披露となった先週より少しはゆとりがあるように感じました。

最初は思い通りにならなかったり、失敗したりすることがあるのは当たり前です。その悔しさや失敗をどのように受け止め、修正しようとするかが、『経験値を積むこと』です。これは、どんなことにも当てはまることです。

釜戸町文化祭の生徒たちの姿を見て、とても大切なことを実感しました。

【書写・絵画の展示とボランティア・ブラスバンドクラブの演奏場面】



栄 誉

興味があったこと、やりたかったことに全力で取り組み、結果を残すことができた、精一杯取り組むことができた、という想いをもつことができればとても素晴らしいと思います。

特に県や全国に進出するチームの皆さん、本当におめでとう！

自分たちの力が出し切れることを心から祈念しています。

9月30日 軟式野球 文部科学大臣杯 第15回全日本春季県大会

「優勝」1・2年合同チーム 来春の全国大会出場

10月14日 軟式野球 第21回全国中学生都道府県対抗野球大会東海大会

「優勝」オール岐阜チーム 3年 大竹 晴紀

11月3日～5日までの全国大会出場

10月14日 北中駅伝部 東濃地区中学校総合体育大会 第56回 駅伝競技

男子「優勝」 女子「4位」 男子：県大会出場

10月15日 珠算 令和5年度 全日本通信珠算競技大会 岐阜県東濃大会

中学生の部 「優勝」 瑞浪北中学校

メンバー 1年 脇山 呼幸

3年 山内 涼聖 個人 準優勝

3年 脇山 幸之助 個人 準優勝

第2回 学校運営協議会 開催

10月24日(火)、今年度よりスタートしたCS(コミュニティスクール)の母体となる、第2回学校運営協議会を開催しました。

今回の協議会は13時5分の昼休みの時間から開始し、生徒会新聞の配付、前期生徒会の振り返りとともに後期生徒会メンバーの自己紹介と、前期に引き続いて地域との繋がりを大切にしていきたいという願いを話しました。その後、オープンスクールと同時間に授業参観を行いました。

最後の感想交流では、「授業に臨む一生懸命な姿が印象的だった。」「3年生の息の長い発言が素晴らしかった。」「子どもたち一人一人が穏やかで和やかであり、落ち着きがあった。」といった授業を参観されての感想から、ボランティアでの姿について、「地域の方とよく話をする姿が印象に残っている。任されたブースの仕事を一生懸命取り組む姿があった。」「中学生の前向きで礼儀正しい姿が素晴らしかった。」といった良さを数多く聞くことができ、とても嬉しかったです。

また、学校運営協議会のあり方について、「学校だけでやっていくのではなく、地域の代表がもっと様々な形を提案していくことを考える必要がある。」といった意見が出て、地域の方々ができることを考えてくだされば、より学校と地域の絆が強固なものになっていくと思いました。とても有難いご意見でした。今後のあり方がどのように変容していくのか、楽しみになりました。

